

Luncheon Linguistics, 12 Oct. 2022

2022 (令和4) 年 10 月 12 日

「パピアメント語の場所副詞と場所標識 nan について」

発表者：パトリシオ バレラ アルミロン (東京外国語大学大学院博士後期課程)

本発表の目的はパピアメント語の **nan** という標識の場所を表す機能を記述すること、およびその機能を持つようになった経緯を説明することである。パピアメント語の **nan** には 3 人称複数代名詞として働く機能と、名詞句に接語としてつき複数性を表す機能。そのほかに **nan** が場所を表す形式 **aki** 「ここ」、**ei** 「そこ」、**aya** 「あそこ」につき **akinan**, **einan**, **ayan** という語を作ることがあるが、**nan** がついた形とついていない形で明確な意味の違いが明らかでない。本発表では場所指示詞につく **nan** は名詞と形容詞につき複数を表す標識および 3 人称代名詞と同じ形態素であり、その意味が複数性から場所性を表す接語に転じたことを主張した。この過程には、1) 複数 3 人称代名詞の **nan** が複数の人がいる場所・組織を表す名詞句と一致することがあること、2) 複数標識 **nan** が連合複数を表すことができ、場所性のある名詞句に用いられることがあること、3) 指示詞 **aki/ei/aya** が特別な構造で名詞句を作り場所だけでなく照応を表すこともあるため、場所性の意味が希薄化したことに起因するであろう。p